

昨年は大変お世話になりました。今年も
よろしくお願いします

日本共産党 前市議・県議予定候補 えんど久子は

2018もがんばります

「戦争をしないと決めた憲法9条を守りましょう。一緒に力をあわせましょう」などと昨年5月以降500回、街頭から訴えました。戦争法の廃止を求めるべっぷの会は毎月19日ゆめタウン前でアピール行動を続けています。 下の写真



来年4月の県議選を目指してがんばります。みなさんのご指導ご支援をよろしくお願いいたします。



昨年1月に伊豆で行われた日本共産党第27回党大会にて。いせだ良子さんと。



豪雨の翌日7月6日、日田市花月川にて。仁比参議院議員や堤栄三県議らと。

昨年9月6日、オスプレイが緊急着陸した大分空港近くの高台にて。「危険なオスプレイは日本の空を飛ぶな」と声を上げる えんど久子（右から3人目）ら。

9月7日には山下よしき参議院議員らと現地調査。オスプレイが離陸した8日、福岡市で真島省三・田村貴昭両衆議院議員、仁比聡平参議院議員らとともに九州防衛局に申し入れ、オスプレイの日本上空の飛行禁止、日本からのオスプレイ部隊の撤退を強く求めました。 上の写真



11月21日、生活と健康を守る会のみなさんや堤栄三県議（右端）らと県交渉。生活と健康を守る会の県交渉を年2回、別府市との交渉を年2回。日本共産党として予算要望交渉を毎年11月頃に行い、粘り強く声を届けて実現を求め、少しずつ実現しています。 上の写真

日本共産党 県政ニュース

別府市石垣西8-2-31
日本共産党北部地区委員会
発行責任者 えんど久子
Tel.0977-22-6576

No. 13
2018.1.8.

えんど久子のホームページはっぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください

国民健康保険 大分県の実任に

値上げはとんでもない

大分県の試算では国保税値上げに

今年4月から国民健康保険の運営責任が市町村からと都道府県に移り、県の役割がいつそう重くなります。

11月に県が示した算定額では、一人平均2806円、別府市では1135円国保税が上がるとの試算です。12月の県議会で、日本共産党の堤栄三県議（大分市選出）は「県が一般会計から繰り入

れて、県民の国保税の負担を抑えよ」と主張。県は「その考えはない」と答弁。猿渡（えんど）久子ら大分県の日本共産党は、毎年上京し厚労省に国保税引き下げのために国の負担を増やすことなどを求めてきました。全国知事会なども要望を続け、国負担を増やすことが決まりました。

負担が重すぎて暮らしを脅かすほど

12月20日えんど久子前市議は、堤栄三県議らとともに国民健康保険の問題で大分県と話し合いました。

えんど久子は「安心して暮らすための社会保障の制度である国保税の負担が、暮らしを脅かすほどの重い負担となっているのはおかしい。別府では2割を超える世帯が滞納。市町村は一般会計から繰り入れ、努力をしている。国保財政の主体になる県も財政負担を増やし、県民の負担を抑えなければ、暮らしを守れない」と、強く求めました。県知事に直接に求めたいと思います。

3月市議会に国保税の額が提案されます。今後も一緒に声を上げましょう。



奥右から堤栄三県議、えんど久子。「食費を削って国保税を払わなければならない、と悲鳴が上がっている」と、えんど久子。

重度障がい者医療費助成制度

手続き不要に改善

重度心身障害者の医療費助成制度は、立て替え払いと払い戻しの

手続きが必要です。えんど久子ら日本共産党は「立て替えや手続きが大変だ」と、大分県や厚労省に改善を求め続けてきました。

広瀬勝貞県知事は、12月5日、この制度を払い戻しの手続きの必要がない「自動償還払い」に切り替える意向を示しました。全市町村で2019年度中の導入を目指し準備を進める、とのこと。

日本共産党は、今後とも立て替え払いの必要がない現物給付化をめざしてがんばります。一緒に声を上げましょう。

